第三種郵便物認可
新聞定價一ヵ月60円
一部賣3円（月曜休刊）
磐城日日
昭和27年（1952年）7月9日（水曜日）
【第574号】

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31 355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

遺家族の弔慰金ねらう
悪質金融業者横行
記名國債にて擔保は不可

終戦後七年の間遺族に對して何等の措置もとられずに過ごしてきたが、漸く四月一日より戦傷病者戦歿者遺家族等援護法が施行され愈々本月より弔霊金及び遺族金等の支給申請を受けることになつた

この弔慰金は國債をもつて五万円支給され一般は昭和二十八年度より八年間、被保護者（生活保護を受けている者）は四年間に償還されるものである、また遺族年金は毎年現金にて妻…一万円、子…五千円、六十才以上の父母…五千円宛支給される、小名浜町にはあつて該当者五百名以上あり、國債支給を九月にひかえたこの頃悪德金融業者がこの機を逸すべからずとばかり当町にも入り込み弔慰金の五萬円をねらい甘言をもつて二万円程度を前渡しをなし、國債受領後残金を渡すと云つて遺家族を訪問しているものがあるが、残金などは幾ら渡されるものか五千圓か一万圓位が關の山と思われる、この國債は記名國債であり、他に担保とすることは出来ないようになつており悪金融業者に乗ぜられないよう充分注意されるよう町當局では望んでいる

印刷見習工募集
中卒以上の者、希望者は履歴書持参の事
住込の便あり 委細面談
小名浜町渚廻
長瀬印刷KK

入選小名浜音頭

小名濱觀光協会ではさき頃より港都小名浜をひろく天下に紹介するため本社並にいわき民報後援のもとに平素大衆に愛誦される通俗的な小名浜音頭をひろく一般より募集中であつたが、六月三十日をもつて締切り、水野政次郎（町長）佐藤政治（觀光協会長）草野庄平（商工會長）高木長年（公民館長）坪内清（文化協会長）三代義勝（漁業組合長）田島繁矢（底曳組合長）莊野精二郎（水素社長）浦田文二郎（臨港通社長）野崎滿藏（常磐交通社長）小浜常司（第二小學校）いわき民報社、磐城日日新聞社で審査の結果昨八日次の通り當選者並に歌詩を決定した、

（注五項以降は省略）

●一等…小名浜町古港五八、たかせ・かすみ

①港小名浜 入舟出舟
ヨーイ〱
今日も大漁のソーレ
魚市場
（囃子以下同じ）
ササヤートセ ヨイヤナ
ハヨーイ ヨイトコ
ヨイサノセ

②櫻吹雪に 綠の松は
一と目千里の ソー
レ富ヵ浦

③綱取岬に 朝日がさせ
ば
久慈と大津が ソー
レまた見える

④海で鍛えた マドロス
さんも
浜の女に ソレ弱く
なる

⑤港まつりは 打揚げ花
火
とがす夜空に ソレ
燃ゆる水

●二等…小名浜町林の上
野田吉雄

①ハアー
櫻吹雪の勿來の關を
越えりゃみちのく
波の花散る 小名の浜
〱
ヤットシ小名浜 ヤシレ
ハレソレ
シャントシャン〱 よい
港（以下囃子同じ）

②小雨春雨三崎は煙ぶる
やるせないぞえ
泣いて船待つ 片便り
〱

③都歸りか北海道か
あいの小名浜
寄らにゃ行けない 戀
の浜〱

④あれは小名かよちら
〱灯（あかり）
船はおもかじ
錨おろそよ顔見せに〱

⑤どんと波打つ三千噸で
纜の夜釣か
濡れて動かぬ 影二つ
〱

●三等…小名浜町渚
小林 ちえと

①ハアー
沖の潮風ナサーノヨイ
サッサ
沖の潮風 南か北かョ
なびく煙がエー なび
く煙が氣にかゝる
ドドント小名浜 サッ
トセッセ

②三崎外れりゃ 波の瀬
枕
夢はあの娘の膝枕

③磯香育ちも 紅とく頃
は
何故かかもめに泣かさ
れる

④一夜結んだ ともづな
さえも
解けば氣になる廻り船

⑤水着きた娘の 浴衣が
匂う
港祭りの 宵の浜

詩歌僧愚庵
日本画家 大平華泉

てん淡寡欲父母を尋ねて數奇な半生を送つた愚庵和尚が、伏見桃山の庵で五十一才を一期として大往生をとげて四十九年、北越の聖僧良寛和尚とならび稱せられ卓越せる詩歌僧として特に現歌壇の大なる注目の的となり、幾多の歌集研究等が出版せられ、然も和尚は明治元年奥羽同盟に加わり遂に力戰効なく敢えなくも落城せし磐城平藩士として、年少戰塵の巷を馳驅し、戰禍の犠牲者であつたとは實に思慕感慨に堪えない、その一生は薄幸と病苦との辛酸をなめ、十五才にして生き別かれ骨肉を憶い、血涙不遇な生活を送つた事実はそく〱として吾人の胸に迫るものがある現画壇に於いても故長野草風畫伯は平と何か因縁関係があつたのか非常な愚庵研究の一人であつた

また一方兒玉希望先生もその書簡などを集め特に書幅の購入には一時專ら手を盡して捜し求めるなど熱心な努力と愚庵研究隨筆等幾多の述作は有名なものである

かつて兒玉先生の含蓄ある愚庵についての高說を拜聴し轉た愚庵の尊貌が瞼にうかび、その書幅とともに偉大な感懐をものされた、平市諸橋邸の三猿文庫内に愚庵の大須賀均軒先生に宛てた書簡が額となつて飾られてあるが、その書跡と文章とは卓越そのものであり自ら崇敬の感を深うした

愚庵幼名を甘田久五郎とよび齢十五才にして磐城平藩士として戊辰の役に出陣したが、兵火に迫われて父甘田平太夫、母浪妹延の三名が六部姿で巡禮の旅に上つてしまつた敗戰愚庵は只一人の兄賢武と共に、この肉親を尋ねて寫眞師となり、各地の温泉場を廻つたり種々なる方法に身をやつして奥羽は勿論、北海道、琉球、台灣まで行脚されたその頃俠客が全國的に何かと連絡のあることを聞いて、淸水の次郎長に懇望されその養子となつたその間片時も念頭を去ることの出來ぬのは父母妹への思慕の情であつた

三十四才のとき內心に父母を求めようと決心し、京都林丘寺に隱棲していた明治の高僧滴水禪師の門に入り、剃髪して鐵眼と稱した、晩年落東蓙寧坂に庵を結び、愚庵と號し殊更らに十名と限つた信者から與えられる月一升宛の白米の布施をうけて佛道に精進した、この蓙寧坂の庵へは東京から正岡子規が高浜虚子と同伴して訪ねたことが子規の随筆に見られる

その後伏見桃山に移り閑寂の境涯に入つて心氣愈々澄み好きな書、漢詩、和歌等に親しみ殊に親を憶う歌には切實なるものがあつた、更に愚庵について面白いことは山岡鐵舟に愛されその庇護によつたことは事実である、著書として詩歌をおりまぜた巡禮日記と次郎長の傳記東海遊俠傳が山本鐵眉の改名で著作されたのはあまりにも有名なものである

明治三十七年一月十七日京都伏見桃山の庵室にて示寂辭世の歌に

大和田の島もあらなくに
　梶緒をたい
漂う舟の行方知らずも

と幾多の高い調子の詩歌を詠み遺した風流文雅の高僧であり、終始一貫眞情至誠の人であつたと同時に、世にも珍らしき異常な宿命のもとにあらゆる困難不幸障害にも屈せず、本來の稟質の美を發揮して詩歌人とし明治歌壇史に特筆すべき業績の數々を殘したるは誠に驚嘆に値すると共に崇敬景仰に堪えず郷土磐城文化史上永く青史に傳うべきものなりと堅く信じて疑わざるものである

連絡協議會發会式
十五日小名濱公民館で行う

〃既報〃小名浜公民館では町內各青少年團体相互の連結强調を圖ると共にその助成發展に努めるため、去る七日午後七時半より同公民館日本間に町內の青年團、ボーイスカウト及び各團体の代表十數名が參集して青少年團体連絡協議會結成準備会を開き審議を行い、小名浜各青少年團体相互の連絡協調を密にして助成發達に努めると共に民主々義の昻揚を期することになり、その事業として

①團体相互の連絡協調
②育成機關の確立
③指導者の養成
④情報宣傳の研究調査
⑤町的行事の實施
⑥其の他目的達成に必要なる事項

等を決定した

なお來る十五日午後七時半より同公民館に於いて代議員会を開き会長、副會長、書記、会計監査等役員の選出をなし連絡協議會の發会式を行うことになつた

江名で衛生
映画と講演
平保健所

平保健所では夏季に於ける傳染病予防對策と衛生思想の向上を圖るため來る十一、十二、十三の三日間江名町中學校及び同隣保館に於い衛生に關する映畫会並に衞生展示会講演会等を開催する

錦町表彰さる

錦町（町長高木武一郎氏）では、國土建設週間に當り昭和二十六年度の公営住宅建設優良町村に決定され、明十日午前十時より縣廳知事室に於いて表彰を受けることになつた

天氣豫報 9

【本日】北東の風朝晩は小雨模様の天氣ですが、日中は薄陽がさしましょう

【海上】沿岸は大体穏やかですが、沖合では多少風波がありましょう

魚菜市況 8

【小名浜中央青果市場】刀豆八〇〜一八五南瓜四五〜七〇胡瓜七〇〜九〇茄子一二〇〜一三八馬鈴薯二〇〜二七玉菜一五〜二五葱六〇玉葱二五〜三七人參六〇大根四〇〜四五午ぼう一五一〜一五七らつきよ三〇〜一〇五卵一〇〜一〇、二〇梅七〇〜九〇とまと七〇〜一六一桃一七五〜二一〇

【小名浜魚市場】かつお二六〇〜二六五いか七五

生徒募集
晝間部・夜間部
小名浜町本町
長瀬洋裁研究所

開衿シャツ大特賣
●大人純綿厚地開衿……二三〇円
●大人純綿キャラコ開衿……二五〇円
●純綿クレープシャツ……一六〇円
●六月八日九日限り
専門店会チケット歓迎
平市
小名浜
藤越

ABCDE
面積計
体温計
温度計
はかり
長さの計
關内資生堂
小名浜町 TEL147

類焼御見舞御禮
小名浜町中坪四番地
ほまれや家具店
大津定之

出火御見舞御禮
去る六日夕刻出火の際は早速御駈付け消火に御盡力下され且また御鄭重なる御見舞を頂き誠に有難う存じます
御蔭を以て大事に至らず被害を最少限度に止め得ました事を感謝致して居ります
尚當日は混雑に取紛れ御尊名御伺い洩れのため御挨拶申上げざる向もある事と存じますので取敢ず紙上を以て厚く御禮申上げます
昭和二十七年七月八日
小名浜町中坪三番地
錦港社印刷所
鴨 漣五

経費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい

御子様へ御菓子
動物ヨーチエン 百匁60円
カルケット 百匁70圓
學生さんへ
上質ノート 12枚 5円
上質大学ノート15圓より
野球帽55円より110円
御孃さん奥様へ
夏は木綿高級新柄服地入荷
白生地ヤール60円 各種
化粧品御屋メヌマ ジュジュパピリオ 80圓
花王洗濯石鹸徳用型10円
御勤の皆様へ
開衿190円より800円
男底サンダル460円より
皮女雨靴650圓より各種
白アメ底300圓330圓
小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番

【1】日刊（除月曜）昭和25 [illegible] 6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月19日 運輸省特別承認拔第684號

磐城日日

昭和27年（1952）7月9日（水曜日） 第574号

『小名浜味淋干』の生みの親
日東物産安川市郎氏
品質向上にたゆまぬ研究

小名浜町古港有限會社日東物産（社長安川市郎氏）では地元唯一の名産〃みりんぼし〃を製造廣く京浜、阪神、九洲方面に出荷して好評を博しているが、現在福島民友新聞主催の縣下「みやげ品」コンクールに於て常に上位を獲得している点よりみてもその名聲が高く評價されている

本縣に於ける〃みりん干〃の製造は昭和五年小名浜町後宿小野照吉氏（通稱本田屋）がいわしを原料として製造したのが始まりであるが、先進地の千葉縣業者が艶出し液を使用して外觀を良くして市場へ賣出したためこれに押されて再起不能に落ち入つた、その後昭和十三年頃千葉縣出身の安川市郎氏（現常磐水産味淋加工業協組合長）が小名浜において再開し、いわしの不調によりさんまを原料としてたゆまぬ研究をつゞけ、砂糖に代る調味料の研究をなし優秀品を製造し得ることに確信を得て、昭和二十三年ころより大規模に製造を開始して京濱、阪神地方に販路を擴き好評を博したものである、なお安川氏は三十余の同業者にもこの加工技術を傳授し、昭和二十五年頃より堅實な地歩を把握することが出たものである、この味淋干加工業も本年度の成績よりみて今後生産業者が増加するものと予想されるが、現在の市場聲價を覆すことがない様に絶えない指導と研究が必要である、現在小名浜の「みりんぼし」は昨年十月より本年六月まで約六〇万貫を製産しており文字通り小名濱を代表する、唯一名産品となつたが、更に福島縣の名産として全國的に宣傳すると共にたゆまぬ研究改良を行つてよりよき製品を造り出すことに安川氏を始め業者は一丸となつて努力している

照明コンクール
講演會開催

〃既報〃小名浜商工會並びに配電小名浜電業所共催町役場、磐城日日新聞社後援による小名浜商店の〃照明コンクール〃は來る七月二十日より三日間行われる〃港まつり〃の行事として華々しく行われるが、このため同会では本九日午後一時より同町公民館に於いて照明コンクール講演会を開催することになつた、講師は東北電力平營業所長鴨田明氏である

勿來の海開き

勿來町觀光協会ではこの程海水浴場及び勿来の關などの觀光設備が整つたので來る十日海開きを行うことになり郡山〜勿来間臨時列車の運轉を目下陳情中である

検擧数三四〇件
小名濱署の捜査月間

小名浜地区署では管内に發生した未検擧犯並に一般犯罪を速かに検擧解決し、農繁期に於ける一般地方民の不安を一掃して治安の確立を期するため去る五月二十日より六月十九日までの一ヶ月間検擧率向上並に未検擧盗犯特別捜査月間を実施したがこのほどその成績がまとまつた なお検擧成績優秀な巡査に對し來る十日署長賞が授與される

①刑法犯罪

窃盗犯…一八三件（發）四七件（檢）窃盗未遂…二件（発）藏物故買…二四（發）藏物牙保…一件（發）詐欺…一九件（發）五件（檢）暴行…一〇件（發）二件（檢）恐喝…五件（発）二件（檢）横領…四件（発）三件（檢）業務上過失傷害…二件（發）住居侵入…一件（發）傷害…一〇（發）六件（檢）計二六一件（發）六五件（檢）

①法令違反

覺醒劑取締違反…八件（檢）食糧管理法違反…三件（檢）外國人登錄違反…一件（檢）銃砲刀劍類等所持違反…一件（檢）風俗營業違反…一件（檢）酒造法違反…一件（檢）道路交通違反…六五件（檢）計七九件（檢）總合計三四〇件（檢）

●署長賞授與者

刑事係 第一位常松善一（巡査）第二位吉田芳男（巡査）第三位小林利明（巡査部長）第四位菅野忠幸（巡査部長）第五位猪井勇（巡査）

その他の係 第一位内山 平（巡査）第二位上遠野光正（巡査）第三位根本重男（巡査）

賞金四萬八千圓
小名漁協組の行事

小名濱漁業協同組合では來る七月二十日より三日間行われる〃港まつり〃に際しこの行事の一つとして第四回小舟競爭、水泳大会、海角力などを実施することになつた

出場者は小名濱より五十名、江名より五十名が参加して覇を争い賞金計四萬八千円を出すことになつている

夏衣裳の展示即賣會【平】

平吳服店會では七、八、九の三日間市商工課、平商工会議所後援のもとに公會堂日本間で本麻織物夏衣裳の展示即賣会を行い盛会を極めている

磐農高二部の入札決定

勿来町大字四澤地内の磐城農業高等学校第二部の建設については昨年度に於いて土地の買收も終り川部村中山吉之助氏の手で整地作業中であつたがこの程漸く完成したゝめ勿来町では去る五日午後九時より町議会を招集して建築業者指名入札を行つた結果六百八萬円で東京都鉄道工業株式会社水戸支店に落札した、なお建物は建坪三四六坪であり十三日頃には着工することになつたまた勿来町窪田より勿来の關に通ずる觀光道路に架橋する「櫻橋」の入札も同時に行われ八十五萬三千三百円で全水戸支社が落札本年度中に完成の予定で着工する

平で野菜の夜店
平窪に夜店組合生る

生産者から直接消費者へ新鮮な蔬菜果実等を直接賣買しようという平市平窪の蔬菜生産農家が一丸となつて發足した平窪夜店組合（組合長鈴木良吉氏）は會員三十名毎日畑から取つた新しい野菜をその夜平市に持ち込み譜百貨店横にずらりと夜店を並べ市價より安値で直接需要者の手に賣渡そうというもの、來る十日から九月十日迄毎夜七時から十時まで販賣が行われることゝなつたが大体一人當り十貫から十五貫の蔬菜を賣さばくものと見られ約三百貫の胡瓜茄子玉葱等が一夜でフッ飛んで行くと意氣込んでいる

ヒヤかして顔面切らる

去る六日午後九時ころ平市飯野字白土平機関区庫内手若松利雄（二六）さんは全市五色町下川地内の暗がりを通りかゝり密会している男女に出合い「アンチャン」と呼びかけたところ、男はやにわにナイフのような物で若松さんの左顔面に切りつけ逃走した、急報に接した平市署では藤田捜査課長以下係員出動して捜査にあたつているが現在犯人の目星がついていないなお若松さんは長さ五寸深さ一寸の傷をうけており市内鎌田町金成醫院にて加療したが全治一ヶ月を要する

勿來の拔取局員を送検

植田地区署では七日勿來町四澤字宿前勿來郵便局員松下三郎（二二）を業務横領容疑で身柄送検した、松下は去る二十三年十月ころから十一月までの間に横浜市南區三春台新生教會金子久雄（二三）さんから前後四回にわたつて現金一万円の貯金を依頼されたのを横領して遊興に費消したほか去る六月二十八日岡崎市岩付紡績会社から川部村三澤高木一枝さん宛の書留郵便から三千円の拔取りその他にも一件あり合計一萬五千円の拔取り横領を仂いた疑いによるもの

花火

夜涼みのひとゝきで楽しむ線香花火やこれから全國到る處で催うされる川開きや、花火大会のあのきれいな仕掛け花火は一体どうして造られるが、花火は吾々の祖先が物々交換によつて生活を営んでいた頃、近くに住む人々と物の交換するとき合圖に枯草をもやして知らせたのろしがそもそもの始りといわれている今日のような花火が日本に傳つたのは約四百年前の唐の時代でありその後徳川時代になつて子供の遊びものとして線香花火が出來、玉屋、鍵屋などの花火職人が工夫をこらして新らしい花火を造りお互に腕自慢をしたのであるそうして川開きのとき花火を打揚げるようになつたのは百五十年前からであり、その頃江戸（今の東京）に赤痢、コレラが流行して澤山の人が病死したゝめ隅田川で川施餓鬼を行い、このとき死んだ人々の靈をなぐさめるために花火を打ちあげたのが因となつてその後毎年行われるようになつた花火の種類には夜使うものと晝使うものがあり、夜は光と音を交じえた打揚げや仕掛をつかい、晝は煙や音を主にして火薬の中に旗や風船などの形のあるものを入れたりする、花火に使う火薬はまず黑色火薬で硝石＝一〇硫黄＝二、木炭粉＝一の割合で混合したものが主なる原料であり線香花火に入つているのはこの火藥である打揚げ花火はボール紙で造られた星の形をした火薬をならべ、その眞ん中にクダ（玉を割る火薬）を入れて丸るく合せ、その上を日本紙で幾枚も包み麻で巻きつける、玉の大きさは直經二寸から三尺位まであり、五寸位の玉なら高さ二百メートルから三百メートルぐらいあがる次々と美しい色に変わる打揚げは、この玉の中に入れる火薬を混ぜ合せてぬりかさねたものである例えばドーンと音と共に闇夜が紅色に色どられると、次に緑色や銀色に変わるのは、まず銀色に光る火薬をぬり、その上にまた緑色の火薬をまるくぬり、次に紅色の火薬をぬる、これが打揚げられると外側から順々に玉が開いて行きあの美しい花火となるのである、仕掛花火は人の顔や瀧などを青竹で實物と同じ大きさに形を造り、それに火薬をつめ紙のパイプを二、三寸おき位に結びづけ、その形どうりに導火線をつけておく、導火花線に火がつくと百メートルが二、三秒の早さでもえ、夜空にその形がみえるのである玩具花火は百四十種もあり、線香花火、ネズミ、ヨーヨー、青竹に薬品をぬりつけた電氣花火、紙のパイプに薬品をつめた打揚、次々と星が飛び出すスターマイン、ドーンと光と音だけのフラッシュ・クラッカーなどが主なるものである　また旗ものや袋ものといつてドーンと揚がると落下傘や旗、飛行機などが落ちてくるのもあるこうした花火を造る工場は今日本に三百七、八十軒あるが、その製法は昔そのままで行われており薬を粉にする薬研、ウス、フルイ、庖丁などの品具だけを使用してどんな花火でも造つている、手先の器用な日本人に適しているためか技術は世界一といわれており終戰後はアメリカ、中國にも澤山輸出されている

[illegible]

一級酒

小名浜町 清水屋酒造店 電話六番

◉八日開店◉ 午後六時より……
パチンコ……
…新鋭機百數十台取付…
大型機宣傳販賣部
ホームラン遊技場
小名浜町元福田屋跡

興榮工材のパッキングと……ゴム製品
●皮革パッキング各種製作
●アスベルト、コルク、ファイバー、フエルト、鉛、コットン、耐酸、耐熱、耐油、グランド各パッキング
●ラエニング關係
●ウオターー外各種ホース
●ゴムV・平ベルト
●ゴムシート類
多少は拘らず試み下され度
興榮工材株式會社
小名濱出張所
小名浜町本町二六
電話〔呼出〕五四六番

内科
小兒科
皮膚科
放射線科
高木醫院
小名浜町定西五
電話四九九番

電話開通お知らせ
電話六五四御利用下さい
最中 アイスクリーム 一ヶ10円
櫻まんぢゆう
多少に不拘御届け致します
天然ガスを御利用下さい
有限會社 常磐天然ガス 小名濱荷扱所
水飴 蜂蜜 卸 柳内キャンデー店
小名浜町本町四〇

9日 10日上映
西陣の姉妹
田中、三浦、宇野、日高澄子
大映の野心作遂に完成!!
植田館